

2. 主な環境指標の実績および将来目標 (22～25 頁)

(1) 原子力発電所の運転停止による影響

原子力不祥事に伴い運転を停止したことにより、原子力設備利用率は大幅に低下*いたしました。原子力発電所の発電電力量の減少分を火力発電により補った結果、環境負荷(CO₂、SO_x、NO_x)は総じて増加いたしました。

*原子力設備利用率： 2002年度実績 60.7% 2003年度実績 26.3%

a. CO₂ (30 頁)

原子力発電所の運転停止により減少した発電電力量を火力発電により補った結果、2003年度のCO₂排出量は1億2720万トンとなり、2002年度と比べて約2,000万トン(18%)増加、原子力発電所の運転停止がなかった2001年度との比較では約4,000万トン(46%)という大幅な増加となりました。また、排出原単位も2001年度と比べて21%増加いたしました。

		実績				将来目標 2010年度
		1990年度	2001年度	2002年度	2003年度	
CO ₂ 排出原単位	(kg/販売kWh)	0.382	0.317	0.381	0.461	1990年度比20%削減 0.31程度
CO ₂ 排出量	(万t)	8,410	8,740	10,740	12,720	-
販売電力量	(億kWh)	2,199	2,755	2,819	2,760	
原子力発電設備利用率	(%)	71.3	80.1	60.7	26.3	

b. SO_x、NO_x (36 頁)

CO₂と同様に、原子力発電所の運転停止により減少した発電電力量を火力発電により補ったことから、SO_x、NO_xの排出原単位が高い石炭、石油火力発電の比率が上昇したため、SO_x、NO_xの排出原単位は前年度の1.3倍に増加いたしました。

しかし、当社は良質な燃料の使用、排煙脱硫・脱硝装置の設置、徹底した燃焼管理などの対策に努めており、引き続き世界最高水準のクリーンレベルを維持しております。

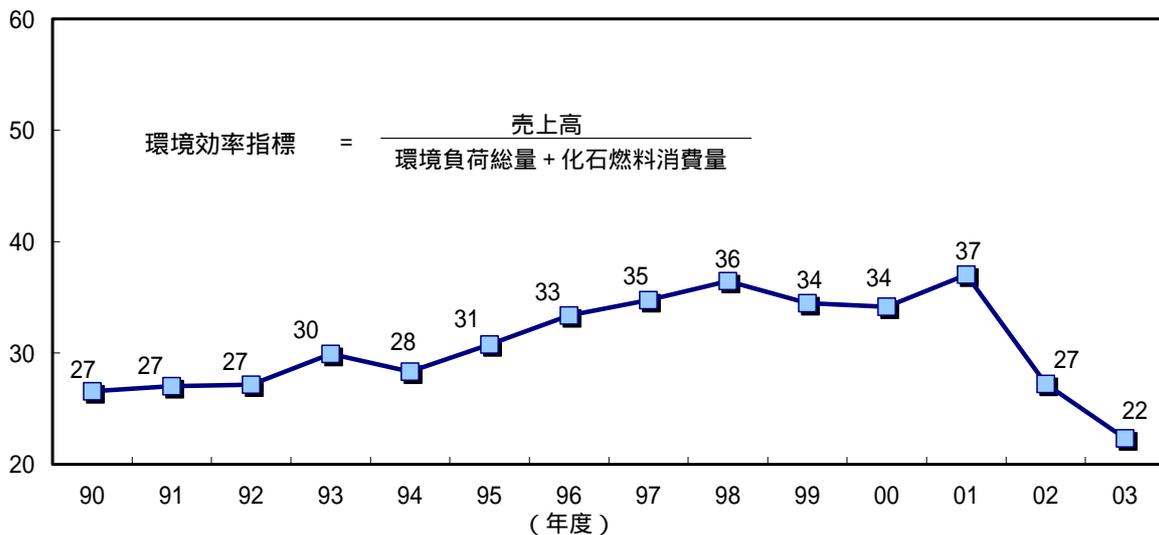
		実績				将来目標 2008年度
		1990年度	2001年度	2002年度	2003年度	
SO _x 排出原単位	(g/kWh)	0.17	0.05	0.10	0.13	0.1以下
NO _x 排出原単位	(g/kWh)	0.22	0.08	0.12	0.16	0.1以下

c . 環境効率（Eco-efficiency）指標（75 頁）

事業活動全体と環境影響の関係を環境効率性の観点から評価するため、2000 年度より環境負荷量や資源消費量と経済活動を対比した「環境効率指標」の測定に取り組んでおります。

2003 年度は売上高が 1.5%減少するとともに、原子力発電所の運転停止により減少した発電電力量を火力発電により補った結果、CO₂、SO_x、NO_x の排出量や化石燃料消費量が増加し、環境効率指標は 1990 年度と同等の水準であった 2002 年度と比較して約 18%低下いたしました。

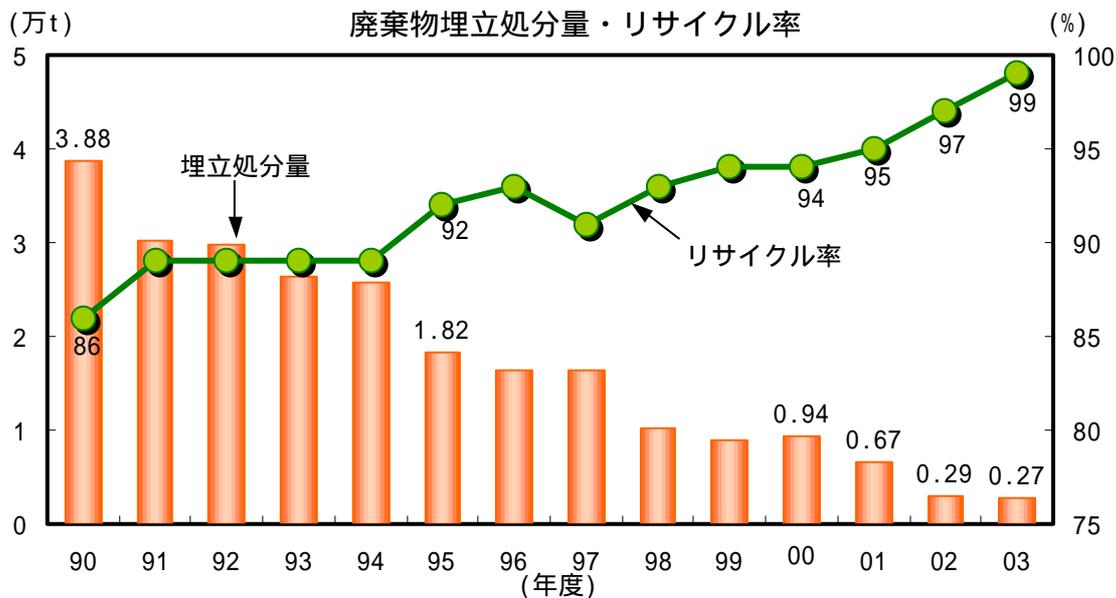
環境効率指標の推移



- (注)
- ・売上高は電気事業営業収益
 - ・環境負荷総量および化石燃料消費量は、複数の環境負荷物質（CO₂、SO_x、NO_x）、化石燃料（重油、原油、LNG）消費をそれぞれ各物質および燃料種の環境影響度合いにより重み付けして合計（統合化）したもの。重み付けに用いた係数は、代表的な統合化手法の一つである「日本版被害算定型統合化手法」に基づいて設定。

(2)2003年度の産業廃棄物の総合リサイクル率は99%に向上(42頁)

保温材くずや廃プラスチック、貝類等のリサイクル率が向上したことや、石炭灰、脱硫石こうを全量リサイクルしたことにより、産業廃棄物の総合リサイクル率は前年度実績を2ポイント上回る99%となりました。埋立処分量も2,700tと前年度から200t削減しました。「2005年度までに産業廃棄物の総合リサイクル率100%」という目標の達成に向け、今後も一層のリサイクルに取り組んでまいります。



(3)自社用エネルギー・資源消費量は全て改善(33頁)

日常業務における社員一人ひとりの環境意識向上を図るため、2001年度より自社内で使用する「事務所内電気使用量」「生活用水使用量」「車両燃費」「コピー・プリンター用紙購入量」のエネルギー・資源4項目について、チャレンジングな削減目標を設定し、その達成に向けて全社一丸となって取り組んでおります。

2003年度実績は、2000年度比で電気21%、水36%、車両燃費12%、コピー・プリンター用紙28%をそれぞれ削減し、これはCO₂に換算すると、2000年度比約19%削減したことになります。(コピー・プリンター用紙は除く)

		実績				2005年度目標 (2000年度比)
		2000年度	2002年度	2003年度	削減率 (2000年度比)	
事務所内電気使用量	(100万kWh)	305	278	241	21%	15%削減
生活用水使用量	(万m ³)	222	165	142	36%	15%削減
車両燃費 (走行距離当たりの燃料消費量)	(L/km)	0.112	0.105	0.099	12%	20%改善
コピー・プリンター用紙購入量	(A4換算億枚)	4.0	3.3	2.9	28%	50%削減